

# 2018年度 環境活動レポート

対象期間：2018年1月1日～2018年12月31日



発行 2019年 2月 20日



〒651-2228

神戸市西区見津が丘5丁目2-3

TEL 078-998-1650

FAX 078-998-1660

# 環境経営方針

株式会社阪神鍍金精工所は、めっき業界の一翼を担う会社として地球環境を経営上の重要問題の一つと認識し、達成すべき環境目標を設定し、地球環境の保全と汚染の防止を含めた継続的改善に努めます。

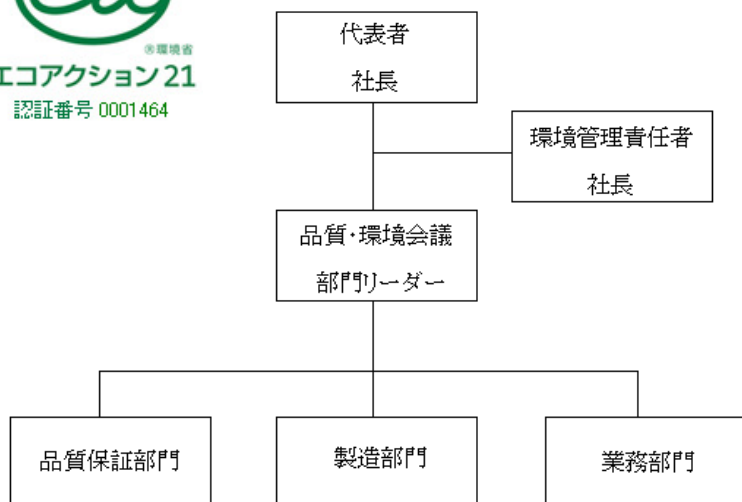
- 1 環境法令、条例及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
- 2 二酸化炭素排出量削減のため、効率的な運転に努めます。
- 3 廃棄物の発生を抑え、リサイクル化を推進します。
- 4 排水量削減のため、効率的な利用及び節水に努めます。
- 5 薬液の使用、適正管理を行ない化学物質使用量削減に努めます。
- 6 環境に配慮した物品の購入、エネルギー効率を重視した機器の採用、グリーン購入を推進します。
- 7 有害性化学物質の代替品使用を推進します。
- 8 この方針は、全従業員の教育、訓練により周知徹底するとともに、一般にも環境レポートとして公表します。

制定日 2003年 6月 1日  
改定日 2019年 1月 22日

株式会社 阪神鍍金精工所  
社長 樽谷 和廣

# 実施体制図及び役割・責任・権限

更新日 2018年 1月 22日  
(株) 阪神鍍金精工所



承認	作成
	K.Kuretani

	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営に関する統括責任</li> <li>・環境方針を作成し、環境目標及び環境活動計画の承認</li> <li>・環境管理責任者を任命</li> <li>・代表者による全体の評価と見直しを実施</li> <li>・環境活動レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>・環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>・環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>・環境活動レポートの確認</li> </ul>
品質・環境会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局</li> <li>・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施</li> <li>・環境目標、環境活動計画書原案の作成</li> <li>・環境活動の実績集計</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>・環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>・環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)</li> <li>・環境活動計画の審議</li> <li>・環境活動実績の確認・評価</li> </ul>
部門リーダー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自部門における環境方針の周知</li> <li>・自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施</li> <li>・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成</li> <li>・試行・訓練を実施、記録の作成</li> <li>・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> <li>・環境に関する内部監査の計画</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

## □組織の概要

社名	株式会社 阪神鍍金精工所
所在地	本社・工場 兵庫県神戸市西区見津が丘5丁目2番3 TEL.078-998-1650 FAX.078-998-16
設立	1957年 7月
資本金	3,000万円
代表	代表取締役 榎谷 和廣
事業所	本社・工場 (特定施設設置工場)
事業内容	金属電気鍍金加工
事業年度	6月～5月 (但し活動レポート対象期間は1月～12月)
従業員数	16人
敷地面積	2,500㎡
環境管理責任者	榎谷 和廣 連絡先 : TEL078-998-1650

## □環境負荷の実績値

項目	単位	2016年 実績値	2017年 実績値	2018年 実績値
二酸化炭素排出要素				
電力	kg-CO2	シエナジー電力係数 → 157,575		
		231,055	227,597	221,355
都市ガス		70,749	74,114	81,879
ガソリン		2,902	2,881	3,602
軽油		12,980	12,861	13,352
一般廃棄物排出量	kg	238	229	268
産業廃棄物排出量(スラッジ)	kg	10,370	10,370	10,030
総排水量	㎡	6,197	7,169	7,400

※-1 2018年1月より 電気供給会社を関西電力からシエナジーに変更(係数0.378 : 2015年度調整後)

※-2 2017年までの電力二酸化炭素排出係数は関西電力で 0.531 でした(2018年は併記)

※-3 次年度(2019年)から、基準年を2018年に変更します

## □環境目標とその実績

[データ記載期間は2018年1月1日～2018年12月31日]

項目	単位	2013年	2018年	2018年	2019年	2020年	2021年
		基準年値	目標値	実績値	目標値	目標値	目標値
二酸化炭素排出量削減 (合計) シエナジー	kg-CO2	—	287,861	256,407	255,125	253,843	252,561
関西電力	kg-CO2	376,513	(370,244)	(320,187)	—	—	—
シエナジー	kg-CO2	—	203,534	157,575	156,787	155,999	155,211
・電力	kg-CO2	294,807	(285,917)	(221,355)	—	—	—
・ガス	kg-CO2	62,629	65,821	81,879	81,470	81,060	80,651
・ガソリン	kg-CO2	1,576	1,531	3,602	3,584	3,566	3,548
・軽油	kg-CO2	17,501	16,975	13,351	13,284	13,217	13,151
基準年値比	%	100	97	86	99.5	99.0	98.5
一般廃棄物排出量削減	kg	257	251	268	267	265	264
基準年値比	%	100	97	104	99.5	99.0	98.5
産業廃棄物(スラッジ)排出量削減	kg	20,879	20,252	10,030	9,980	9,930	9,880
基準年値比	%	100	97	48	99.5	99.0	98.5
排水量削減	㎡	7,695	7,464	7,400	7,326	7,252	7,178
基準年値比	%	100	97	96	99	98	97
化学物質使用量削減 (NaCNは不使用)	kg	32,915	31,927	22,080	21,970	21,859	21,749
基準年値比	%	100	97	67	99.5	99.0	98.5
製品への環境配慮(不良金額削減)	万円	1,599	639	290	287	284	281
基準年値比	%	100	40	18	99	98	97

□環境活動計画及び取組結果とその評価

2019年1月20日

取組計画	達成状況	評価（結果と次年度の取組内容）	
<b>電力による二酸化炭素排出量の削減</b>			
・ 工場・事務所の節電	◎	継続	作業中に必要のない機器・電灯は切られていた。 休憩時の消灯を各自積極的に行っていた。
・ 生産性向上のための改善	△	検討 継続	段取り時間の短縮、効率の良い治具の採用により工程時間の短縮を図っている。 改善提案の提出も行き詰ったのか少し低迷している。
・ インバーター機器の採用	×	継続	今期はインバーター機器の採用は無かった。
・ LED照明への転換	◎	継続	事務所・工場の一部に実施した。
<b>都市ガスによる二酸化炭素排出量の削減</b>			
ガスボイラー燃焼時間の短縮	×	検討 継続	ボイラー管理表にて日々管理され、定期点検1回/3ヶ月も実施され又、めっき槽等保温をしガスの使用量を削減している。 今期は目標に対して80%でしたが、来期は保温材、予熱利用等検討して行く。
<b>自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減</b>			
・ 公共交通機関の利用で社用車の使用削減	○	継続	営業、打合せ等の顧客様訪問時には電車・バスを利用し、今後も使用削減行っていく。
・ エコドライブ等運転方法の配慮	◎	継続	配送員は空運転・空ふかしはしない、アイドリングストップを心がけていた
・ 更新時には低燃費車を選択	○	継続	今後も購入時には選択して行く。
<b>一般廃棄物の削減</b>			
・ ごみの圧縮・減量	○	継続	ごみにならない工夫、顧客からの包装紙は納品時再利用若しくは返却。
・ 包装資材の削減	○	継続強化	簡易包装・包装をしないを推進した。
・ 通箱の利用、新聞・広告紙削減	○	継続強化	顧客様と相談をし、通箱を利用し包装資材の削減を図る。
<b>産業廃棄物の削減</b>			
・ 排水処理でのスラッジ削減	◎	継続	生産工程での水量削減の効果で、大幅はスラッジ排出量削減ができた、次年度も継続し削減に努める。

◎：よくできた      ○：まあまあできた      △：あまりできなかった      ×：全くできなかった

□環境活動計画及び取組結果とその評価

2019年1月20日

<b>水道水使用量の削減</b>			
・ 節水シール貼り付け・ポスター掲示	×	継続	節水シール・表示札等更新計画はしているが更新実施はされなかった。
・ 漏水の定期的チェック	◎	継続	各ラインの設備点検表に漏水チェック項目を追加し日常点検とし機能している。
・ 水洗蛇口の水量監視	○	継続	めっきラインの水道バルブに流量シールを貼付し出し過ぎを防止している 出しっぱなし、出しすぎを適宜確認。
・ 雨水、放流水の再利用	△	計画 検討	放流水の再利用(クローズドシステム)は、将来長期的に考え計画して行く。 エコドラムを設置し、緑地の散水等に利用する事を検討した。
<b>化学物質(溶剤)の使用量削減</b>			
・ 表示の徹底	◎	継続	溶剤名、容量を記載し見やすく表示をした。
・ 溶剤使用量の適正化	◎	継続	管理表に準じ、計量の徹底を図った。
・ 規制物質の不使用	◎	検討・継続	規制物質含有の有無を確認(SDS)し使用を制限した。
<b>グリーン購入の推進</b>			
・ 有害性の少ない資材の購入	◎	検討・継続	エコマーク・グリーンマークの表示品を購入してきた。
・ 各用紙を再生紙に転換 (コピー用紙・PC用紙名刺・事務用箋)	◎	継続	再生紙マークの表示品を購入してきた。
<b>製品への環境配慮</b>			
・ めっき不良の低減等効率化を図る	◎	継続	社内不良低減のためさまざまな提案・改善により大幅な低減がされた。 不具合品発生報告書の提出、その是正処置への取組みも進み、次年度も継続し大幅な低減に努める。
・ 省エネ機器の採用	△	計画・検討	機器購入時には検討する事になっている。

◎ : よくできた      ○ : まあまあできた      △ : あまりできなかった      × : 全くできなかった

## □環境関連法規制等の順守状況

実施日：2019年 1月 20日

法規・条例	規制事項	担当部門	届出・点検・測定頻度	判定 (○×)
水質汚濁防止法	特定施設設置の届出 排水基準の遵守と測定	排水処理部門	変更時毎 自主2回/1ヶ月 届出1回/6ヶ月	○ ○
下水道法	排水基準の遵守と測定 排水の量・濃度報告	排水処理部門	排水管理報告 2回/1ヶ月	○ ○
廃棄物の処理及び 清掃に関する法律	特別管理産業廃棄物 マニフェストの運用 廃油・廃酸・めっき汚泥 その他	排水処理部門 製造部門	報告 1回/1ヶ月 特管廃棄物量報告 1回/1ヶ月	○ ○ ○
毒物劇物取締法	毒物劇物取扱責任者選任 業務上取扱者選任 毒劇物の保管に於ける表示 盗難・紛失・流失の防止	業務部門 製造部門	選任時の届出 薬品管理台帳	○ ○ ○ ○
特定化学物質管理法 PRTR法	6価クロム化合物 ニッケル化合物 亜鉛化合物 ・RoHS対応管理 ・SDSの管理	排水処理部門 製造部門	特定化学物質管理届（届出対象外）	/
大気汚染防止法	量・濃度規制基準遵守と測定 電解排ガス (6価クロム化合物)	製造部門	計量証明書 1回/1ヶ月(保管)	○
消防法	少量危険物貯蔵所の設置	製造部門	設置届	○

- 環境関連法規制等の順守状況を確認した結果、法規制の逸脱はありませんでした。
- 近隣住民様からの苦情、関係当局よりの違反等の指摘は過去5年間無く継続しています。
- 業務用エヤコンの簡易点検及び定期点検を実施しフロン漏洩の防止に努めます。

## □代表者による全体の評価と見直し

評価項目	見直し		評価
環境経営方針	無	変更無く全従業員に周知	<p>今期は全体的には良い評価が できると思います。我々製造業 では、生産高を上げようとすれ ば、当然光熱量の増加は避け られません。しかしながら仕方 がないでは済みません、全員 が「それ本当に必要なん？」と 言う気持ちを前に出し、生産高 を上げつつCO2削減等地球環 境を守り、次世代へバトンタッ チして行きましょう。</p>
環境目標	有	目標値・計画の見直し	
環境活動計画と実施状況	有	取組み項目の検討と決定	
実施体制及び役割・責任・権限	無	変更はなし	
環境経営システム	無	変更は無く定期見直しをする	
外部への対応	無	苦情・変更等はなし、活動レポートに掲載	